

市内各地で行われたイベントや、
まちの話題をお届けします。
ここで“なかゆくい”しませんか。
(なかゆくい=ひと休み)



市ホームページ「うらそえトピックス」
にも市内のできごとを紹介しています。



1/25 2025うらそえYA文芸賞 表彰式

2025うらそえYA文芸賞の表彰式が市立図書館内エントランスホールで開催されました。13歳～22歳までを対象に作品を募り、今年度は短編小説部門に33作品の応募がありました。審査の結果、煌賞(浦添市長賞相当)に宮城穂香さん(写真1段目右端)の「輪」が選ばれ、ほか3名の受賞者が決定しました。

宮城さんは「自分にしか表現できないことをモットーに小説を書き続けていきたい」と語り、周りの人への感謝を述べました。受賞された皆さんの次なる作品への期待が高まります。



1/19 安全なまちづくりへの取り組みが評価

令和7年度上半期「安全なまちづくり総合対策優秀警察署」の表彰式が浦添警察署で行われました。本表彰は県警察本部長と沖縄県防犯協会連合会会長連名による、平成15年に開始された表彰制度です。

今回、浦添警察署は令和6年上半期から3期連続の受賞で、累計で17回目の受賞となります。7つの審査項目の中で、防犯カメラの設置促進、検挙対策を強力に推進した他、特にボランティア団体の皆さんと連携し活動した「ちゅらさん運動」が高く評価されました。

仲程浦添警察署長は「3期連続で受賞できましたのは、ボランティア団体の皆さま方のお力添えがあったからこそです」と受賞への喜びと感謝を述べました。



2/8 楽しみながら介護のお仕事体験

これからの超高齢化社会を支える「介護」のお仕事に慣れてもらうことで介護・福祉に対する興味・好奇心を育み、介護現場で活躍する仕事を知ってもらうことを目的とした職業体験イベント「てだキッズかいごチャレンジ」が、医療法人八重瀬会と陽明高校協力のもと、やえせAssemble Gardenで行われました。

市内の小中学生を対象に、午前と午後の部で合わせて67人の参加がありました。将来救急救命士を目指している阿久津ラベラさん(琉大附中2年)は「人を救う仕事に役に立つと思い参加した。普段関わることが少ない高齢者の身体の擬似体験をしたり、お世話の大変さを楽しく知れていい経験になった」と笑顔で話しました。



1/23・26 作品作りでちゃーがんじゅう

老人クラブ会員が1年間の活動を通して制作した作品を披露する「第53回高齢者の生きがいと健康づくり作品展示会」が1月23日・26日の2日間、市役所9階講堂で開催されました。今回は総勢233人による、写真や絵画、手工芸など535点もの多彩な作品が展示され、500人を超える来場者が訪れました。閉会式では、市制55周年を記念した特別企画として、特に優れた作品を制作した4人に対して、市長、議長、教育長、市老連会長による表彰が行われました。市老人クラブ連合会の比嘉愛子会長は、「多彩で素晴らしい作品に、皆さんの日々の活動を誇りに思う。市老連60周年に当たる記念すべき年に、盛大な会を開催することができとても喜ばしい」と話しました。



1/20 第64号・65号輝くてだこ市民賞

スポーツ・文化その他の分野で活躍し、顕著な成績を収めた方々に贈る輝くてだこ市民賞。

第64号にカラテドリームフェスティバル2024国際大会(全国新人戦 組手幼年年中男女混合)で優勝した伊禮琉人さん(6歳)、第65号にカラテドリームフェスティバル2025全国大会(組手幼年女子19kg未満の部)で優勝した伊禮雅さん(6歳)に贈られました。

双子でもある2人は、それぞれの大会成績について聞かれ「優勝できて嬉しかった」「楽しかった」と話しました。練習も勉強も野菜も好きという、怖いものなしのお2人の更なる飛躍を期待します。



1/18 スポーツで世代と国籍を超え交流

浦添市国際交流協会主催の新春スポーツ交流会がJICA沖縄体育館で開催されました。小さな子どもからお年寄りまでアジア、南米、ヨーロッパの11カ国約90人が参加し、世代と国籍を超えた交流となりました。開会式ではゆいゆいキッズシアターによる力強い演舞から始まり、会場は大きな熱気に包まれました。スポーツ交流会では4つのグループに分かれ、「5色綱引き」「玉入れ」「巨大オセロ」「障害物リレー」の競技を行い、チームワークを発揮し、笑顔あふれる交流会となりました。参加者からは「障害物リレーが楽しかった」、JICA研修員からは「浦添市民と交流ができてよかった」と感想が寄せられました。



1/15 九州を魅了した仲西の獅子舞

令和7年11月23日に長崎で開催された「第67回九州地区民俗芸能大会」に参加した、仲西獅子舞保存会の皆さんが市長を表敬訪問しました。九州地区民俗芸能大会は、九州各地に伝えられてきた伝統芸能を披露し、民俗芸能の魅力に触れてもらう目的で開催されており、今大会は県を代表して、仲西の獅子舞が出場しました。仲西の獅子舞は、約400年の歴史があり1981年に浦添市指定無形民俗文化財に指定されています。大会で「ボムタバー」という演目を披露した、仲西獅子舞保存会会長の眞島章次さんは「初の県外公演でしたが、地響きのような歓声があり、満足いく演舞ができた。参加してよかった。また行きたい」と喜びを話しました。